



西会津中学校 学校だより

令和4年6月30日発行
7月号 No.4
発行者 校長 佐藤 崇史

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

「文武不岐」「文経武緯」～勉強も練習も自分からやろう～

私は、中学、高校、大学と部活動は吹奏楽部に所属していました。音楽に青春を捧げていたのですが、スポーツについては、やるのも見るのも好きです（スポ少でサッカーをやっていたこともあり、特にサッカーが好きです）。部活動の顧問についても、教員生活のほとんどは運動部の顧問で、子どもたちと走るなど、できることを一緒にやって汗を流していました。今回話題にしたいのは、その「部活動」についてです。

さて、西会津中生の多くは運動部に所属し、スポーツに親しんでいます。身体が成長していくときに運動は必要ですし、筋肉が付き、反射神経が鍛えられるなど良い効果がたくさんあります。また、スポーツで思いっきり身体を動かし汗をかくと気持ちがいいですし、友達と一緒にできるスポーツは仲間との仲も深まります。そのように考えただけでも、運動も勉強も人の成長にとって大切なものということがわかります。

その勉強も運動もどちらも一生懸命に努力して両立することを「文武両道」と言います。文と武の両方の道で頑張るという意味です。私は、この言葉もいいですが、「文武不岐」という言葉が好きです。「不岐」は分けることができないという意味です。「文武両道」はそれぞれ別の道だけれども努力することですが、「文武不岐」は、勉強も運動も別の道ではなく、ともに大切だということを表しています。

野球がうまくなるには、ボールをしっかり見る動体視力や、速く走る力やボールを思った場所に投げたり受け止めたりする力が必要ですが、それだけでは上達に限りがあります。限られた練習時間で上手になるためにはそのトレーニングメニューを自分で考えたり、試合の作戦を考えたりすることがすることも必要です。正しく考え、判断し、実行するという、思考力、判断力、表現力が運動にも必要だということからも、運動と勉強は分けることができないということがわかります。

社会人として様々な分野で活躍している人が、中学・高校時代に部活動の練習に明け暮れたという話をよく聞きます。その多くの方が、部活動で体力や集中力をつけ、勉強や仕事に集中するための基礎を養ったと述べています。

私は以前、柔道部の顧問をしていたこともあるのですが、その柔道部の練習しているところには、「柔道の父」「日本オリンピックの父」と呼ばれた嘉納治五郎先生の言葉が額に入れて掲げられていました。その額の中の言葉が書かれた紙に、大きな判子が押されているのですが、そこには「文経武緯」と書かれていました。地図の経線、緯線と書くように、「経」は縦系、「緯」は横系を表しています。つまり、「文経武緯」とは勉強と運動は縦系と横系のように両方がうまく織りあっているべきだという意味です。文と武をわけることなく、両方ともに自分を高めるものとして全力で取り組み、たくさんのことを学んでほしいということを伝えており、「文武不岐」と同じく、大切にしたい言葉です。

たくさんを学んでほしいという意味では、練習をやらされているうちは本物ではないです。多くの学校の部活動では、先生から出された練習メニューをこなしているだけになっていることが多いと思います。意味もわからず、先生から言われたことをただ繰り返しているだけの部活動もあるかもしれません。

何のために部活動をするのか、目標は何なのか、どんな練習をすればその目標が達成できるのか。自分たちが考え、実践する部活動にしたいものです。中学生にとって、自主性や協調性、人間関係を形成する力など今後の人生を生きるために必要なことをたくさん学べる部活動。だからこそ、自ら主体的に取り組むことが必要だと思います。それこそまさに、子どもたちの「自律」に向けた学びになるはずで

目標は他人から与えられても駄目。目標はいつも自分の中から生まれてくるべきなんだ。(タイガーウッズ)

RST(リーディングスキルテスト) ~今からあとは伸ばすのみ~

本校では、読解力(リーディングスキル)の向上に全教科で取り組んでいます。これからの時代は多くの情報があふれています。その情報を正確に読み取る力を付けることは、すべての学習の土台となる大切な力です。今回、その読解力(リーディングスキル)のテストを実施しました。一人一人の結果がわかるようになってきましたので、それぞれが自分の課題をしっかりと把握することができました。あとは、日々、正しく読むことを意識して、言葉を大切に学習していくことです。読解力はすぐに身に付くわけではありません。継続して努力していくことが必要です。課題を常に意識して、自分の読解力を伸ばしていってほしいと思います。



自己ベストを目指して全力を尽くす～全会津中体連総合、水泳大会～



何かに向かっていた
その日々を君は確
かに揮いて生きて
いたのではないか。
(為末 大)

全会津中体連総合、水泳大会が6月9日から行われました。今年度から耶麻大会を実施せず、全会津大会からのスタートです。それぞれの部の大会への出発の際に、「大事なのは自分に克つこと。つまり、自分史上最高のプレイをすること。結果はそこについてくる。」と話しました。生徒たちはそれぞれの自己ベストを目指して、全力で試合に臨みました。結果に満足できているかはそれぞれの目標次第ですが、それぞれがその一瞬にこれまでの思いをかけて、全ての力を出し切ろうとしたと感じます。結果以上に、目標に向かって努力してきたこと、その努力そのものが大切です。その努力が生徒たちを大きく成長させています。この部活動を通して、技術や技能以上にたくさんのことを学んでいる生徒たち。そのこれまでの歩みを誇りにしてほしいと思います。帰ってきた生徒たちに「部活動で技術以外に身につけたこと、学んだことをはっきりと言葉にできるようにしてほしい」と話しました。言葉にすることで、自分の成長をしっかりと感じてほしいです。

多くの人と多様な学びを ～協働的に学ぶことを大切に～

西会津中学校では、アントレプレナーシップ学習という課題探究学習に取り組んでいます。3年生は地域の方とつながり、2年生は武蔵野大学の学生とオンラインでつながって学んでいます。また、その他にも先日は3年生が高齢者疑似体験で社会福祉協議会の方、2年生が喫煙防止教室で町の保健師さんのご指導をいただき、体験学習に取り組みました。テスト前には全校生徒が放課後学習会で地域の方に勉強を教える機会をいただきました。このように、西会津中生はたくさんの人たちとの「つながり」を大切にしながら学んでいます。深く学ぶには、多様な人と対話をするなどの協働的な学習が必要です。クラスの仲間だけでなく、多くの人とつながり、さまざまな視点から考え、たくさんの方を学んでいきます。



【喫煙防止教室】



【高齢者疑似体験】



【放課後学習会】



【2年アントレプレナーシップ学習】



【3年アントレプレナーシップ学習】

7月の予定

1日(金) 2年アントレプレナーシップスクール
5日(火) 県中体連陸上大会1日目
6日(水) 県中体連陸上大会2日目
7日(木) 県中体連陸上大会3日目
8日(金) 授業参観・1学期末保護者会
PTA 常任委員会
13日(水) ビブリオバトル学級予選

14日(木) 3年アントレプレナーシップスクール
2年認知症サポーター養成講座
15日(金) 3年アントレプレナーシップスクール
18日(月) 海の日
20日(水) 第1学期終業式
22日(金) 県中体連総合大会1日目
24日(土) 県中体連総合大会2日目
25日(日) 県中体連総合大会3日目